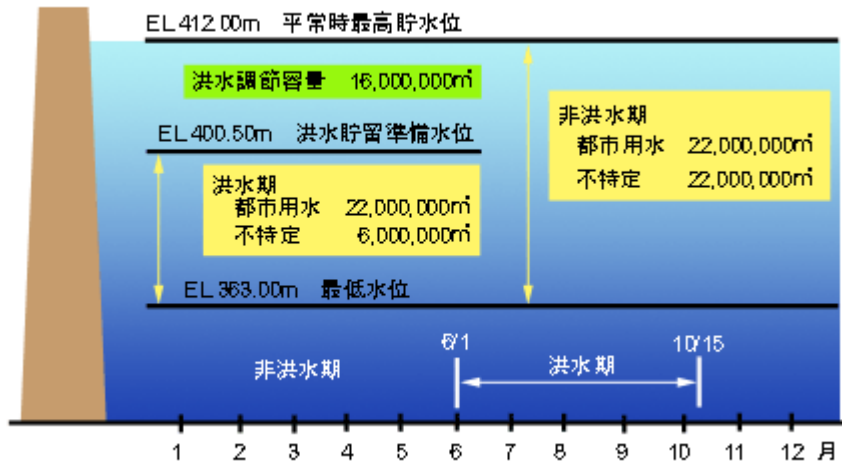




阿木川ダムは、洪水調節、河川環境の保全等及び新規利水（水道用水、工業用水）の供給を目的とした多目的ダムです。

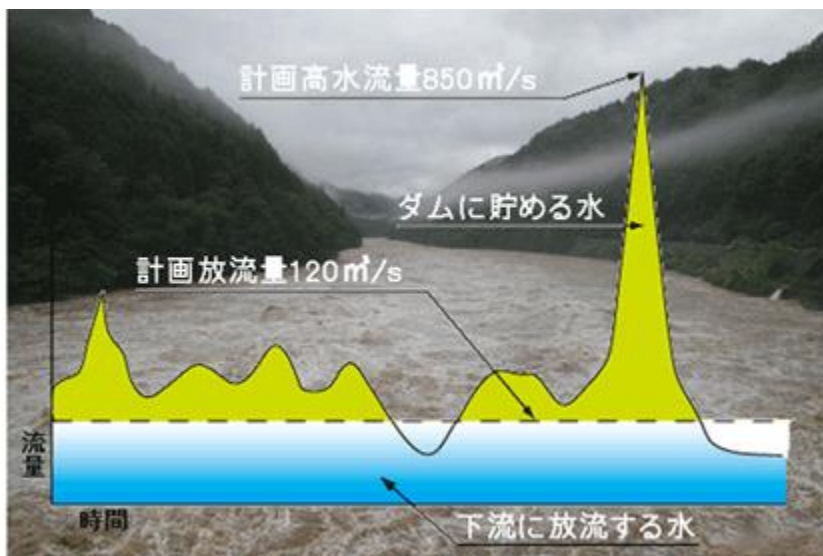
## 容量配分図



## 洪水調節

### 洪水から人々を守ります。

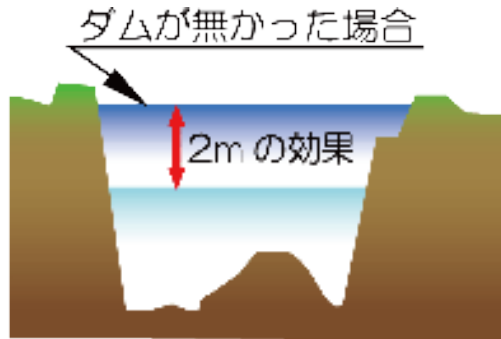
梅雨や台風などで大雨がふった時、ダムに流れてくる水を貯め、調節してゆっくり下流に流し水害がおきないようにします。



阿木川ダムは、100年に1回の確率で起こる大洪水を想定し、1秒間に850 m³の水がダムに流れ込んでも、730 m³を一時的にダムへ貯めることにより、下流の被害を減らすように計画されています。このために洪水期の6月1日から10月15日の間はダムの貯水位を満水位より11.5 m下げて、洪水調節のために必要な容量1,600万 m³を確保しています。

# 洪水調節効果

平成3年のダム完成以来21回（平成28年度まで）の洪水調節を行い平成12年9月の東海豪雨では、毎秒743 $\text{m}^3$ の洪水を毎秒120 $\text{m}^3$ にまで低減しました。



## 河川環境の保全等

長く雨がふらないと川の水が少なくなり、川にすむ生物が大変です。このようなときに、ダムに貯めている水を下流に流します。

阿木川ダムでは、ダムに蓄えられている600万 $\text{m}^3$ (洪水期)、または、2,200万 $\text{m}^3$ (非洪水期)の水を利用して、味噌川ダムとともに、木曾成戸地点（岐阜県海津市海津町）において、毎秒30 $\text{m}^3$ の流量が確保されるように水を流します。

## 新規利水



川に水が豊富にあるときにダムに水をため、川の水が少なくなったときに、その貯めた水を流すことで、家庭や工場に必要な量の水を使えるようにします。

阿木川ダムでは、ダムに蓄えられている2,200万 $\text{m}^3$ の水を利用して、

岐阜県東濃5市（中津川市、恵那市、土岐市、瑞浪市、多治見市）の水道用水、  
愛知県10市1町（瀬戸市、春日井市、刈谷市、東海市、大府市、尾張旭市、高浜市、豊明市、日進市、東郷町、長久手市）の水道用水、  
愛知県6市2町（名古屋市、豊田市、東海市、大府市、知多市、みよし市、阿久比町、東浦町）の工業用水に使用するため、  
最大毎秒4,000 $\text{m}^3$ の水を流します。